



となりのせきのますだくん

武田 美穂／作・絵
ポプラ社 1991年 ¥1200

がっこうへ行きたくないみほちゃん。となりのせきのますだくんに、いすをけられたり笑われたりするからです。みほちゃんには、ますだくんが怪獣に見えるのです。ある日、ますだくとけんかをしてしまい…。



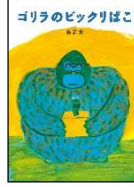
ジャイアント・ジャム・サンド

ジョン・ヴァーノン・ロード／ぶん／え
安西 徹雄／やく
アリス館 1976年 ¥1300

ハチのたいぐんを退治するために、村の人們たちが大きなパンを焼き、ジャムを塗り、ハチをおびき寄せ、退治するお話。だんだんとできあがっていく様子にわくわくし、ジャムサンドを作りたくなるかも！

ゴリラのビックリばこ

長 新太／作
絵本館 1990年 ¥1300



いたずらゴリラがビックリばこを作りました。中からとびだしたのはめがねです。それが動物たちの顔にはまってとれなくなったからみんな大騒ぎ。無事にめがねをはすことができるのでしょうか。

ロージーのおさんぽ

パット＝ハッチンス／さく
わたなべ しげお／やく
偕成社 1975年 ¥1200



めんどりのロージーがお散歩に出かけます。のんびりとお散歩を楽しんでいるロージーでしたが、実は危険が迫っていたのです。後ろにいたのは…。



さっちゃんのまほうのて

たばた せいいち、先天性四肢障害児父母の会のべ あきこ、しざわ さよこ／共同制作
偕成社 1985年 ¥1200

「さっちゃん、ゆびがなくてもおかあさんになれるかな」。先天性四肢欠損という障害を持って生まれたさっちゃんは、五つの指がない自分の手と直面し、傷つきながらも力強く歩き始めます。

価格は2021年12月現在の本体価格です。

○のついた本の内容紹介は、TRCマークを使用しています。

掲載については出版社の許諾を得ています。

無断で転載することを禁じます。

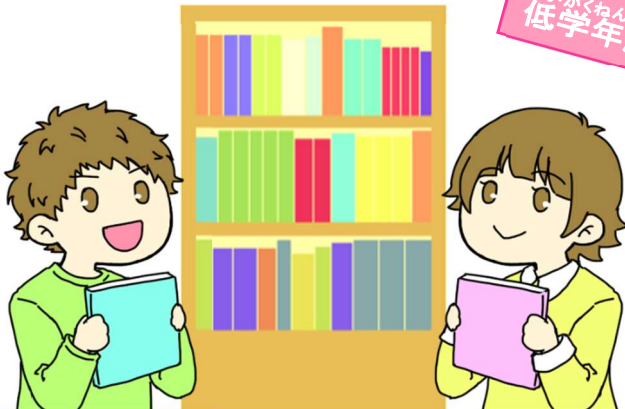


子供とともに 本をひらこう 未来のページ
（「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より）

図書室の先生
おすすめ

うちどく 絵本リスト

しょうがっこう
小学校
ていがかねほん
低学年版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

毎月第3日曜日は「うちどくの日」

●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によってさまざまな感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、市内の学校の図書室の先生に、家族で読んでほしい本を、絵本を中心におすすめしてもらいました。

あきらが あけて あげるから

ヨシタケ シンスケ／作・絵
PHP研究所 2021年 ¥1000



ボクはチョコが食べたいんだけど、この袋、あけにくいんだよ。まだ小さくて力も弱いから、袋があげられないんだ。でも、大きくなったら「なんでもあげるやさん」になって、みんなのかわりに、あきらがあげてあげるんだ！



さるじぞう

大黒 みほ／再話 斎藤 隆夫／絵
あすなろ書房 2021年 ¥1300

さるが見つけたお地蔵さま。実は、それは、おもちをたらふく食べて眠ってしまったおじいさんで…？ おうちよちよちのさと、おもちの好きなおじいさんの、愉快な昔話絵本。



なんだかたのしろう

古内 ヨシ/作
絵本館 2021年 ¥1300

ブゥ〜！ライオンのとうさんのかわいいオナラを聞いたこともライオンが、キャッハッハ、キャッハッハと笑った。とうさんライオンはちょっと恥ずかしくて、ガッハッハ、ガッハッハと照れ笑い。それを見ていたハゲワシも…。



ながぐつをはいたねこ

シャルル・ペロー/原作 西本 鶏介/監修
いとう みく/文 竹内 通雅/絵
フレーベル館 2018年 ¥1280

まず 貧しい粉屋の三男に残された財産はねこ一匹。嘆く三男を励ましたねこは、ながぐつをはいて、うさぎがいる森へ。そして、獲物をお城へ持っていき、三男を「公爵」に仕立て上げ…。ペロー原作の爽快なサクセス・ストーリー。

ぼくのがっこう

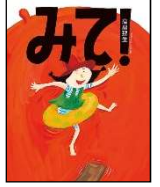
鈴木 のりたけ/作・絵
PHP研究所 2021年 ¥1300



かばんに道具をつめこんで、今日も学校いってきまーす！でも、毎日同じ学校じゃつまらない。たまには、違う学校に行ってみよう。例えば、入り口が濡になっていたり…。こんな学校、あったらいいな！学校が楽しくなる絵本。

みて！

高島 那生/作
絵本館 2015年 ¥1300



海にやって来た、天真爛漫な女の子。「みて！」と言って、女の子がとった行動とは？言葉は少ないのに、女の子や人々、タコの気持ちまで見えてくるユーモア絵本。



ぱんつさん

たなか ひかる/作
ポプラ社 2019年 ¥1300

りんごぱんつさん、くまさんぱんつさん…。地面から、いろいろな「ぱんつさん」が現れた。あっちを向いて、ぐっぐっぐっ。こっちを向いて、ぐっぐっぐっ。並んで体操を始めるけれど…。ヘンテコすぎてクセになる、楽しい絵本。



ノラネコぐんだん きしゃぼっぼ

工藤 ノリコ/著
白泉社 2014年 ¥1200

ワンワンちゃんのきしゃぼっぼに、ちょっと乗ってみたノラネコ軍団。石炭を入れて、ガッタンガッタンと走りだしたけど…。いたずらっ子のノラネコたちが、汽車を舞台に大あばれ！ノラネコ軍団の魅力全開のシリーズ第2弾。

きつねのでんわボックス

戸田 和代/作 たかす かすみ/絵
金の星社 2006年 ¥1200



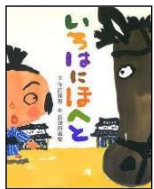
ぼうやが嬉しいと、母さんはいつも嬉しいの…。子ぎつねを亡くした母さんぎつねが密かに思いを寄せたのは、かわいらしい人間の男の子でした。わが子を思う母親の心情をつぶさに描く。同タイトルの童話を絵本にしたもの。

教室はまちがうところだ

晴田 晋治/作 長谷川 知子/絵
子どもの未来社 2004年 ¥1500



教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげて まちがった意見を言おうじゃないか まちがった答えを言おうじゃないか。晴田晋治の詩が絵本に。まちがうことなんか、こわくない！そんな教室を作ろうやあ。



いろはにほへと

今江 祥智/文 長谷川 義史/絵
BL出版 2004年 ¥1300

かっちゃんがその日、初めて習った文字は「いろはにほへと」。うれしくて、いろはにほへとを繰り返しながら道を歩いていると…。お話も絵も、テンポも快調、とんとんびょうしの絵本。



ぞうのエルマー

デビッド・マッキー/ぶんとえ
きたむら さとし/やく
BL出版 2002年 ¥1200

エルマーは、パッチワークみたいなカラフルなぞう。でも、みんなと同じぞう色になりたくて…。自分らしくいることのすばらしさを楽しく描いた秀作。20か国以上で出版されている名作をお届けします。

まゆとおに

やまなばのむすめ まゆのおはなし

富安 陽子/文 降矢 なな/絵
福音館書店 2004年 ¥900



北のお山のてっぺんの三本杉の下に小さな家がありました。その家には、のっぽのやまなばとやまなばの娘のまゆが住んでいました。ある日まゆは、雑木林の奥でとんとなく大きな人に会いました…。

となりのたぬき

せな けいこ/作・絵
鈴木出版 1996年 ¥1300



となりのたぬきがきらい。いじわるだからだいきらい。きらいな、きらいなたぬきを、お月さまがやっつけてくれるというので、うさぎはお月さまとあるやくそくをしました。つぎの日からうさぎは…。